

科研・基盤研究(A)「アジアの在地の協働によるグローバル問題群に挑戦する実践型地域研究」研究会

大西 信弘
京都先端科学大学 バイオ環境学部

在地問題班(ミャンマー):

野生動物保全を行う NGO と協力し、生態系の保全を通じた農村開発の可能性を明らかにする

調査地とトピック

- 1) 水田漁労を核とした地域環境保全(モービータウンシップ、ヤンゴン地方)
- 2) ピロードカワウソを中心としたエコツアーによる地域環境保全(Myeik、タニンダーリ地方)



図1 調査地

Min Village, Hmawbi Township, Yangon Region

聞き取り調査: データをカウンターパートが持ったまま未整理

理: 今の所、移動はあまりみられていない。ビルマ族とカレン族の村が混在するエリア。

水田に穴掘ってレンガ造りをするのが大きな現金収入となっている。小規模漁労を行っている者も乾季にはレンガ造りに従事。2017年には、米の収穫の人件費が出ないということで、実った米が放棄されたエリアがあった。

チンから、インセイン(カレンの居住エリア)への移住があるらしい。インセインのカレンは、チンの移住者に土地を手放し、モービーへ移動。ただし、調査村は、モービータウンシップだが、大きな移住は見られていない様子。

Myeik

海外での出稼ぎ(このケースでは、数ヶ月船に乗って、最後は地元に戻っているかもしれない。)貨物船の船員(月 400-500 ドル程度): ドバイ、シンガポール、マレーシア等。

エビの養殖池(ミャンマー・タイの事業)によって、生活を支えるマングローブが広く切り開かれていることに対して、NPO のアドバイスのもとに、コミュニティフォレストを維持している村もある。コミュニティフォレストの沖合は、良い漁場になっているようだ。また、エコツアー(カヤッキング)の計画もある。

カワウソ調査

ミャンマーには、4種(ピロードカワウソ、コツメカワウソ、ユーラシアカワウソ、スマトラカワウソ)が分布している可能性がある。今の所、ピロードカワウソとコツメカワウソの生息情報を確認。

Myeik では、調査をしていた生息地周辺で、エビの養殖池が造成されて以来、観察できなくなったので、新たな調査地を探索中。

Myeik では、Green Neco(地元のツアーエージェント)と協同している。2017-2018には、Myeik 大学の修士の学生と共同研究をおこなった。WCS、FFI、WWF とも情報交換中。

2018-2019 の調査・発表概要

Apr 27 - May 5: トラップカメラメンテナンス

Aug 8 - Sep 1: Ma San Pa 調査(エビ養殖池でカワウソ消失)、コミュニティフォレスト調査

Sep 11 - Sep 23: Don Island 調査(調査地開拓)、修論公聴会(Myeik 大学)

Nov 18 - Nov 30: ヤンゴン大 WS, "Ecological Status of Otters in Myanmar", Workshop on Myanmar Biodiversity and Wildlife Conservation, 27 November 2018

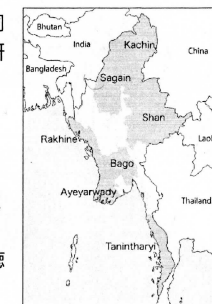


図2 カワウソ類の分布

2019-2020 の調査・発表概要

Apr 6 - Apr 14: 14th International Otter Congress (IUCN SSC Otter Specialist Group), "Ecology and Behavior of Smooth Coated Otter Lutrogale perspicillata in Myanmar", 中国四川省、Tangjiahe Natural Reserve

Aug - Sep: Myeik, Yangon, Maubin?

Dec - Jan: Smart Island での調査

Feb - Mar: Smart Island での調査

地球環境日本基金の助成(118.1 万円)、2019 年 12 月 20 日~2020 年 3 月 31 日

「アングマン海メルギー諸島(ミャンマー)に生息するピロードカワウソの保全」

ピロードカワウソの基本的な生態調査。

現地でのツアーガイド・アソシエーションを対象としたワークショップを開催。

カワウソを代表とする地域の生態系に関する啓発活動を行い、ピロードカワウソ生息地において生物多様性の重要性に関する認識の向上を図る。

カウンターパート機関(Local NGOs)

Myanmar Environment Institute: Khin Ohnmar Htwe (元ヤンゴン大学講師、人文地理学)

Friends of Wildlife: Myint Myint Soe(保護区の森林官を担当した後、NGO に移籍)